

主題

つなげ合うことで共に高め合い、自ら探究する児童の育成
～様々な教科においても～

6-2 国語科「海のいのち」

<高学年部会からの提案>

①初発の感想から設定した単元のゴールと学習計画

物語を読み進める前に初発の感想の交流から、単元のゴールを「太一の成長について捉えていくこと」と設定する。また、太一の心情が大きく変わった場面について話し合い、「父との関わり」「与吉じいさとの関わり」「瀬の主との出会い」の3つのポイントについて読み深める学習計画を立てる。

②ICT の活用

授業のふり返りを書く場面では、オクリンクを活用する。そうすることで自分と友達の見解や感想の違いに気づきやすくし、自分の考えを広げたり、新たな課題を設定したりできるようにする。

③物語の構成や登場人物の心情を図式化して表現する。

単元のゴールを「まとめ・表現」する手段として、太一の「人生マップ」を作成するようにする。太一と登場人物との関わりを通して、太一がどのように成長したのか自分の考えを分かりやすくまとめることができるようにする。さらに単元終了後に総合的な学習の時間の「自分を見つめよう」の学習で、自分自身の生き方と関連付けて考えていけるようにする。

<協議会で話したいこと>

○「人生マップ」の描き方について

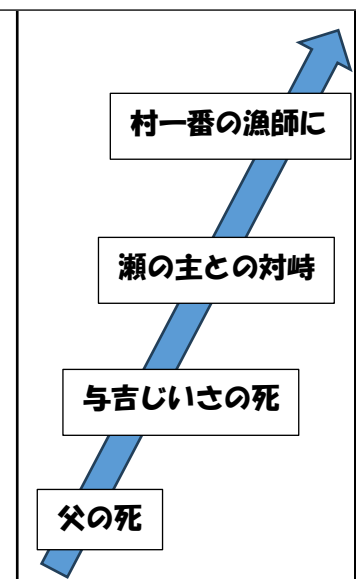
・読み取ったことを毎時間マップに描きこむ。

or

これまでの振り返りを基にして単元の終わりにまとめる。

・文章からイメージしたことを絵で表現するのはOK？

人生マップのイメージ



(裏に本時案があります。)

○ 本時(全9時間中の8時間目)

(1) 本時の目標

人との関わりや様々な出来事を通して成長や価値観の変化を読み取り、主人公の生き方について考えたことを伝え合うことができる。

(2) 展開

○具体的な学習活動・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ■学習活動に即した具体的な評価規準(評価方法)
	※前時に個人ワーク 太一は人との関わりの中でどのように成長し、どのような生き方をしてきたのか考えてある。【個】
めあて 人生マップをもとに太一の生き方について考えたことを交流しよう。 ○ 太一の人生観について考えたことを伝え合う。【班】 ○ 太一の人生観について考えたことを全体で共有する。【つなげタイム】 ・ 父に憧れて村一番の漁師を目指した。 ・ 与吉じいさの千匹に一匹でいいと教えられたから、瀬の主を殺さない選択をしたのだと思う。 ・ 父を失って命の重みに気付いた。 ・ 村一番の漁師というのは、昔は大物を捕まえることだと思っていたけれど、今は海を守っていく漁師だという考えに変わったと思う。 ○ 本時の振り返りをする。 視点 ・ 友達の考えを聞いて思ったこと ・ 人生マップ作りや友達との交流を通して、自分の考えが深まったかどうか	
	◇ 生き方、人生観の捉え方として、「人生の中で大切にしていることは何か」という言葉で説明する。 ◇ 全体での交流を活発化させるために、ペアや班活動を挟むことで、自分の人生マップだけでなく、友達のものから感じ取ったことも発表できるようにする。 ◇ 人生マップを用いた交流を通して、友達と自分の受け止め方や表現の仕方を比べ、気付いたことは何か書くように指導する。 ■ ウ② 太一が3つのポイントを通して、どのように成長してきたかについて、考えを交流し合おうとしている(ノート・発言)

○ 板書計画